

こんにちは。留学開始から8か月が経ち、日本に帰ってきました。日本の寒さと生活環境の違いから本当に帰ってきたんだという自覚が湧きました。

11月の1週目に家に友達を呼んでフェアウェルパーティをしました。私は日本に居る時にパーティをあまりやったことがなかったので計画する際に何をすればいいのか悩みました。しかしマザーと一緒に内容を考えてくれてカレーを作ったり、お菓子を食べたり、踊ったりし、楽しいパーティにすることができました。

2週目にはシスターの卒業式があり、私も卒業式を見ることができました。日本との一番の違いは式典時の服装だと思います。私の通った学校の卒業生は制服の上から自分の文化に通じる衣装を着ることができ、制服の上からマントを羽織る人や何十ものネックレスを首にかけた人がいました。卒業式という晴れ舞台で自分の持つバックグラウンドを主張するというのがオーストラリアらしく、良い慣習だと思います。また、卒業式の裏で他学年は普通に授業をしており、卒業生が退場するときに生徒たちが一斉に渡り廊下へ出て見送る伝統も素晴らしいなと思いました。

3週目には学校が終わるということで多くの科目で課題がありました。国語でドキュメンタリー映画の優れた点をプレゼンするという課題があり、そのスピーチ原稿で1500単語英語で書くことができ、深く考えることが上達したのではないかと嬉しくなりました。また、数学のテストで満点を取ったり、理科や情報でAを取ることができて良かったです。

また、最終週に校外学習でテーマパークと水上アスレチックに行ったり、マザーに海に連れて行ってもらったりとオーストラリアでやりたかったこと全部ができた気がします。

ただ、ホストファミリーとお別れする予定だった3日ほど前にホストファミリーが急遽ニュージーランドに帰国しなくてはならず、バタバタしたお別れになってしまったことや、私の滞在先から次世代生の集合場所まで送ってくれる予定だった仲の良かった先生が私を送ってくれていた最中に急遽学校で対応しないといけなくなることができ、一度学校に戻って送ってくれる人が変わったことなどが悲しくもあり、留学は最後まで何が起るかわからないなと感じました。

しかし、私はこの8か月間で色々な人にお世話になり、温かく受け入れてもらえ、充実した留学生活を送ることができました。学校のダンスチームに入って大会で入賞したり、スピーチの時に友達から良かったよ、と言ってもらえたり、苦労したこともありましたが、やったことがなかったことに沢山挑戦出来てとても楽しかったです。私は留学で、努力が実を結ぶということを感じました。努力してよい結果を得ることは自分の成長につながり、失敗しても、そこまでの努力を認めてくれる人が必ずいると留学を通して思いました。だから、やりたいことにはまっすぐに努力して挑戦心を忘れないようにしたいです。

白鷗高校 14 期生 次世代リーダー育成道場 10 期生 A・K